

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 感染症危機管理対応訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 企画係 電話番号：058-272-1111(内3341)

E-mail : c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

3,114 千円 (前年度予算額：

3,114 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	3,114	1,557	0	0	0	0	0	0	1,557
要求額	3,114	1,557	0	0	0	0	0	0	1,557
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和6年7月、国において、新型コロナ対応を踏まえ、新型インフルエンザ等対策行動計画を10年ぶりに抜本的に見直し、特に、平時の準備として、実効性のある訓練を定期的に実施し、不斷に点検・改善していくことが盛り込まれた。

これを受け、本県においても行動計画を改定し、国と同様、訓練の充実を位置付け、平時からの訓練により迅速な初動体制を確立することとしている。

訓練実施の初年度となった令和7年度は、県、市町村、医療機関及び関係団体等から約200名が訓練に参加し、関係者間で感染症有事の対応等を確認した。

次年度は、感染症対策が様々な局面において柔軟な対応が求められることを踏まえ、令和7年度の設定からさらに感染が拡大した局面を設定のうえ訓練を実施する。こうした訓練の継続により、感染症への対応力を強化するとともに、これまでの経験をリアルティーのあるものとして後世につないでいく。

(2) 事業内容

行政、医療機関、関係団体等が連携し、「推進体制」「情報収集・分析」「ワクチン」「医療」「検査」「保健」等の項目において、実施体制の整備、対応の流れ、各機関間の連携等を確認する、シミュレーション・机上型による訓練を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国：1/2（基準額の1/2を上限）、県1/2

(4) 類似事業の有無

有

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,070	シミュレーション・机上型訓練業務
報償費	39	訓練の講評を依頼する感染症専門家への報償費
旅費	4	訓練の講評を依頼する感染症専門家への旅費
会議費	1	訓練の講評を依頼する感染症専門家への飲料水等
合計	3,114	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県感染症予防計画

岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画

(2) 国・他県の状況

国：令和5年9月に感染症危機対応の司令塔組織として、内閣感染症危機管理統括庁を設置し、以降、同庁主導の下、対策本部設置、各省庁間連携、都道府県連携訓練等を実施している。

都道府県：令和6年度中に改定した行動計画に訓練の実施を位置付け、順次実施中。

(3) 後年度の財政負担

いつ起ころとも知れない新たな感染症危機への備えとして、後世につないでいくためにも毎年継続的に実施していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

新たな感染症危機に備え、感染症対策を総合的かつ計画的に実施することが県の責務であり、県が主体となって実施することは妥当である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

感染症危機に対応するための実効性の高い一連の訓練を企画・実施することで、次なる感染症への対応に万全を期す体制を平時から構築する。

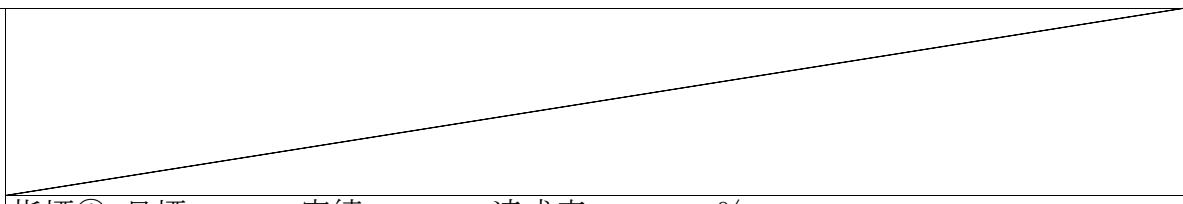
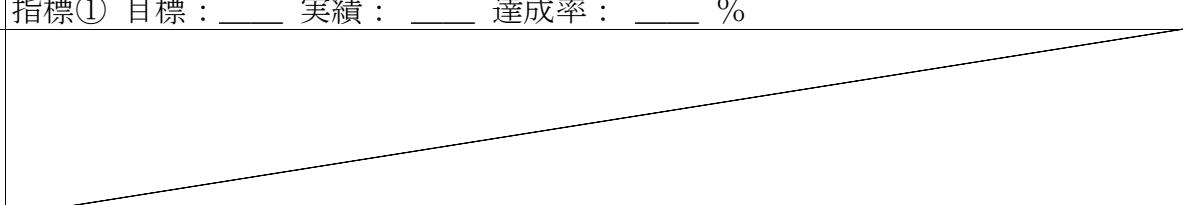
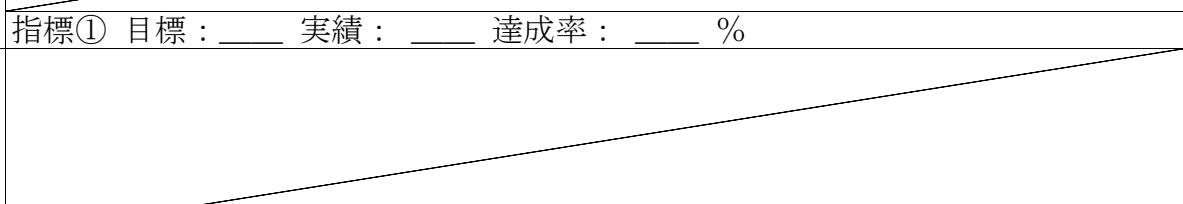
(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

感染症の局面に応じた訓練をR7～R9の各年度において段階ごとに分割して実施する予定であり、訓練内容が毎年度異なることとなるため、指標を定量的に設定することは困難である。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

行政、医療機関、関係団体等が連携し、「推進体制

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	いつ起くるとも知れない新たな感染症危機への備えとして、対応力を強化していくためにも毎年継続的に実施する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和7年度の訓練では、訓練中の各行動に対する評価や訓練終了後の参加者アンケートを実施した。参加者における知識の習熟が図れたほか、訓練の運営等に係る今後の課題や改善事項を得ることができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	訓練の準備・運営に係る一部分の業務を事業者へ委託して実施し、事業の実施方法の効率化を図った。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

今後訓練をより現実に即した精緻な内容・構成としていくための事業の企画や運営にあたるノウハウや人員が不足しており、引き続き事業者への業務委託等を通じて事業実施に係る体制を確保する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

次の感染症危機に備えて万全を期すため、局面に応じた訓練を継続して実施することで、県の感染症対策に不断の点検・改善を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	